【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成21年1月22日(2009.1.22)

【公開番号】特開2007-205804(P2007-205804A)
【公開日】平成19年8月16日(2007.8.16)
【年通号数】公開・登録公報2007-031
【出願番号】特願2006-23625(P2006-23625)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｊ　3/46　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｊ　3/46　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成20年12月1日(2008.12.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
分光反射率特性に係る第１の値と第２の値から求められる色度差によって定まる色を特定する特定ステップと、
前記特定ステップにおいて特定された色をグラフィカルオブジェクトとして表示させる表示ステップと
を有することを特徴とする表示方法。
【請求項２】
前記特定ステップでは、
前記色度差を色度図にあてはめ、前記色度図上で再現できる色を特定することを特徴とする請求項１に記載の表示方法。
【請求項３】
前記特定ステップでは、前記色度図上における視覚的に識別可能な代表色を特定することを特徴とする請求項２に記載の表示方法。
【請求項４】
前記表示ステップでは、さらに、前記分光反射率特性に係る第１の値と第２の値とから求められる色度差を前記グラフィカルオブジェクトとして表示することを特徴とする請求項１乃至３の何れか１項に記載の表示方法。
【請求項５】
前記表示ステップでは、前記グラフィカルオブジェクトとして３次元グラフを表示することを特徴とする請求項４に記載の表示方法。
【請求項６】
前記表示ステップでは、前記色度差が予め定められた値よりも大きい場合に前記グラフィカルオブジェクトを強調して表示することを特徴とする請求項１乃至５の何れか１項に記載の表示方法。
【請求項７】
分光反射率特性に係る第１の値と第２の値から求められる色度差によって定まる色を特定する特定部と、
前記特定部により特定された色をグラフィカルオブジェクトとして表示させる表示部と
を有することを特徴とする表示装置。

【請求項８】
コンピュータで実行可能な制御プログラムであって、
分光反射率特性に係る第１の値と第２の値から求められる色度差によって定まる色を特定する特定ステップと、
前記特定ステップにおいて特定された色をグラフィカルオブジェクトとして表示させる表示ステップと
をコンピュータに実行させることを特徴とする制御プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３５】
一方、測色機１０１を移動させない場合、ステップＳ５０４において、測色部２０５は、パッチの読み取りを行なうか否かを判定する。ここで、測色部２０５は、測色機１０１の位置情報から測色機１０１が既に読み取られたパッチ上に存在する場合、または測色対象のパッチ上に移動していない場合、読み取り制御をおこなわない。読み取りをさせる場合、測色部２０５は、測色機１０１にパッチを測色させるため、読み取り制御をおこなう。読み取り制御についての詳細な説明は、図６を用いて後述する。なお、読み取り制御後、測色部２０５は、処理をステップＳ５０２に遷移する。測色機１０１に読み取りをさせない場合、測色部２０５は処理を終了する。なお、測色部２０５は、全てのパッチを測色するまでステップＳ５０２からＳ５０５までの処理を繰り返す。